



大岡川のナイトクルーズ (撮影/森 日出夫)

大岡川の水質はきれい!? 文◎ 大角武志 (株式会社オオスミ)

何をもち「きれい」か、「きたない」かは議論を要するところではありますが、一つの指標として大岡川には4つの項目について水質の環境基準が設定されています。その4つの項目とは、①水素イオン濃度 (pH)、②生物化学的酸素要求量 (BOD)、③浮遊物質量 (SS)、④溶存酸素量 (DO) をいいます。このうち② BODに注目してみると、大岡川は横浜市内の下水道普及率が低かった昭和40年代では、現在の環境基準 3mg/l に対し、20～30mg/l 以上 (年

平均) という高い値を示していました。しかし、結果からも分かるように、今回の調査では 0.8～1.5mg/l とかなりきれいになっています。他にも全窒素、全リン、全亜鉛やアンモニア性窒素など水質の指標となる複数の項目を同時に測定しており、数多くの項目が低い値を示していました。

大岡川をはじめとした横浜市の河川で、下水道整備をはじめ、規制の順守、改善努力を産官そして家庭が一体となって行ってきた事がこの結果を導き出してきたのではないかと考えられます。

一方、世界に目を向けてみると、昨今の経済発展の裏に潜む環境汚染は、開発途上国を中心に年々ひどくなっています。いまだに有機水銀や重金属、油の垂れ流しが行われるなど、環境汚染は絶えません。川の水は海へ流れ出ます。水には国境がありません。

濱橋会の役割でもある大岡川をきれいにする、川を守ること、そして何より川を楽しむこと。個人的には今後、こういった活動を世界に広めていきたいと考えています。

大岡川水質調査結果

資料提供/ NPO 法人濱橋会・株式会社オオスミ

採取場所	-	大岡川源流域	青木橋付近	長者橋	亀の橋	大岡川 環境基準 (B類型)
採取日	-	2017年2月21日	2017年2月21日	2017年2月21日	2017年2月21日	-
採取時刻	-	9:42	11:19	13:51	14:52	-
天候	-	晴	晴	晴	晴	-
気温	℃	7.8	9.1	8.0	9.1	-
水温	℃	6.4	9.7	10.0	10.5	-
① 水素イオン濃度 (pH)	pH	8.0	8.3	8.2	8.1	6.5以上 8.5以下
② 生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	0.8	1.5	1.2	0.9	3mg/l 以下
③ 浮遊物質量 (SS)	mg/l	1	2	3	1	25mg/l 以下
④ 溶存酸素量 (DO)	mg/l	11.1	13.1	10.5	8.8	5mg/l 以上

長者橋採取試料



長者橋採取風景



青木橋付近採取風景

